

授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任
○			帽子デザインa I	各部の名称、形と素材の種類、頭蓋型や採寸方法など帽子の一般知識を習得し、素材の特徴に合ったデザインの発想、トリミング(装飾)など、全体のバランスを考える。	1・通年	30	1			○	○		○	
○			帽子パターンメーキングI	基礎作図・基礎作図からの展開方法を習得する。	1・通年	30	1			○	○		○	
○			帽子制作実技a I	仮縫い、縫製方法、生地や芯の扱い方を理解し布帛の帽子を制作。	1・通年	60	2			○	○		○	
○			帽子デザインb I	素材の特徴に合ったデザイン発想や様々な装飾技法も取り入れ、着装時の全体のバランス力を身につける。	1・通年	30	1			○	○		○	
○			帽子制作実技b IA	各部の名称や形の種類、頭蓋型、採寸方法などの基礎知識を学び、専門材料であるブレードや夏物帽体、フェルト帽体、コットン芯などの特徴を理解し、木型を使用した制作方法を習得する。	1・前期	120	4			○	○		○	
○			帽子制作実技b IB		1・後期	120	4			○	○		○	
○			アートフラワー	アートフラワーの基本的な知識と技術を実習により習得。専門分野に於いて活用できるレベルを目指す。	1・前期	60	2			○	○		○	
○			アクセサリー	・ジュエリー・アクセサリー商品の基礎知識の習得。 ・アクセサリー制作における各種素材の扱いと基礎的技法の習得。 ・アクセサリー制作における用具の扱い方を制作実習にて習得する。	1・後期	60	2			○	○		○	
○			自由研究	通常授業以外での作品やレポート制作を通じ、学生個々がレベルアップすることを目標とする。 ・ブランド研究 ・各種コンテスト参加 ・美術館、博物館見学	1・通年	60	2			○	○		○	

○			服飾造形	服飾造形としての一般知識、原型の作図方法、縫製の基礎を理解させる。 衣服制作をとおして衣服の構造を理解し、 ファッショング衣料としてのテキスタイルを 関連させ指導する。 衣服造形の基礎、服飾造形概説、シャツブ ラウスの基礎知識・縫製	1 ・ 前 期	60	2			○	○	○		
---	--	--	------	---	------------------	----	---	--	--	---	---	---	--	--

授業科目等の概要

			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	校内	校外	専任	兼任	
○			ハンディクラフト	各種のクラフトテクニックを、エンブロイダリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。併せて、学習したテクニックが使われている実際の商品などの資料を集め、ブックの形式で完成させる。それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。	1・通年	60	2		○ ○			○		
○			染色演習	染色に関する基礎的な知識と技術を、各実習を通して習得し、それをもとにアパレルやアパレル小物の制作に応用展開できる能力を養う。さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。	1・後期	30	1		○ ○			○		
○			素材論	アパレル製品や各自制作物の素材に関心を持たせ、その構成要素である纖維、糸、織物組織などの種類や特徴についての基礎的知識を習得させる。さらに代表的な綿、毛、絹織物の種類に関して、教材(テキスタイルファブリック)を活用しながら、糸の構造や織物組織、密度、加工などの特徴に着目させ、素材の総合的な理解を図る。	1・通年	60	2	○ ○		○		○		
○			色彩論・演習	ファッション分野のクリエイションで色彩を活用することを想定し、基本的な配色方法を中心に色彩の基礎を学習する。	1・前期	30	1	○ ○		○		○		
○			造形演習	ファッショングッズの各専門分野において必要とされる造形感覚、審美眼の育成と造形・デザインの展開とその方法論の享受を教育目標とする。一般的な造形・デザインに対しての基本的理解と造形能力を高めるために重要な理論的解釈、また、造形言語と呼ばれる表現要素の認識とその利用方法の理解と探求を通じ、独自の表現に昇華する事を目標とする。	1・通年	60	2		○ ○			○		
○			デッサン	モチーフを実際に観察して描く訓練を重ねることで、デザインイメージを他者に伝える為の基本描写能力・表現能力の習得を目的とする。デザイン画の前段階として、モチーフの構造を透視化する力・線や面による立体表現・質感表現を学び、それの大切さを理解する。	1・通年	60	2		○ ○			○		

○			ファッショ ングッズデ ザイン画 I	ファッショントートルコ ーディネートで、着装画を表現出来るスキルを身 に付ける。	1 ・ 通 年	60	2				○	○	○			
---	--	--	--------------------------	--	------------------	----	---	--	--	--	---	---	---	--	--	--

授業科目等の概要

(ファッション工芸専門課程 帽子デザイン科) 2022年度

授業科目概要											企業等との連携			
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法	場所	教員			
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任
○				グラフィックワーク I	Photoshop・Illustrator初心者を対象とし、Photoshopでは、画像の切り抜き・合成ができるようになることを目標とする。Illustratorでは、マップのレイアウトデザインができるようになることを目標とする。	1・後期	30	1	○	○	○			
○				ファッショニングビジネス概論	・ファッショニングビジネスの基礎知識の理解 ・ファッショニング産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応	1・後期	30	1	○	○	○			
○				キャリア開発	学生が志望する就職先に内定するために必要な「就職力」を講義+実習を通して身につけさせる。	1・後期	30	1	○	○	○			
○				特別講義 I	学内外の講師による、レギュラー授業以外の講義・実習。 専門分野だけではなく、他分野の講師による講義を通して幅広い知識を得て視野を広げる。 学校生活や各業界における基本的な知識の習得。就職につながる業界の専門知識の習得。	1・通年	60	2	○	○	○			
○				校外研修 I	校外での活動（観劇・美術館見学・博物館見学等）を通して、感性を磨き、表現力の向上を目指す。	1・通年	30	1		○	○	○		
	○			インターンシップ I	企業研修を通して、実践の場から業界の仕事の内容を認識するとともに、学校教育では授業できない実務を学ぶ。 また、社会人としてのマナーを身につけ、就職に対する意識の向上をはかる。	1・通年	30	1		○	○	○		
合計					22科目				1170単位時間(39単位)					

授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任
○			帽子デザインa	布帛を中心とした素材別の縫製方法を理解し、デザインと素材に合ったテクニックを研究して完成度の高い作品制作を目指す。立体裁断を学ぶことにより平面パターンの理解を深め、パターンを応用展開できる力を養う。	2・通年	30	1			○ ○			○	
○			帽子パターンメーキング		2・通年	60	2			○ ○			○	
○			帽子制作実技 a		2・通年	90	3			○ ○			○	
○			帽子デザインb II	デザインに合ったフォルムと、頭の形に合った元型の制作方法を習得する。 素材の用い方について創意工夫し、作品制作における表現方法の幅を広げるとともに、デザイン力の向上を図る。	2・通年	30	1			○ ○			○	
○			帽子制作実技 b II A		2・通年	60	2			○ ○			○	
○			帽子制作実技 b II B		2・通年	120	4			○ ○			○	
○			帽子商品概論	帽子の商品としての価値観や知識を深め、業界や生産の仕組みを理解する。 企業デザイナーとして、ファッショントレンドや、地域性、価格帯別による違いなどからも商品提案できることを目標とする。	2・前期	30	1			○ ○			○	
○			素材論	アパレル製品や各自制作物の素材に関心を持たせ、その構成要素である繊維、糸、織物組織などの種類や特徴についての基礎的知識を習得させる。さらに代表的な綿、毛、絹織物の種類に関して、教材(テキスタイルファブリック)を活用しながら、糸の構造や織物組織、密度、加工などの特徴に着目させ、素材の総合的な理解を図る。	2・通年	60	2	○ ○		○ ○			○	

			造形デザイン	ファッショント芸科の各分野において必要とされる立体造形に関する感覚を養成し、広く様々な造形経験を通じて、造形的なセンスと構成力を研鑽することが教育目標となります。一般的な造形・デザインから発展した様々な造形行為への理解を基調に、追体験と実験的制作を通して個人の主張する表現が遂行出来ることを目指します。	2 ・ 通 年	60	2				○	○	○				
--	--	--	--------	---	------------------	----	---	--	--	--	---	---	---	--	--	--	--

授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任
○			ファッショングッズデザイン画Ⅱ	ファッショングッズデザインワークのうえで即戦力として使えるデザイン画の習得と強化。就職活動に活用できるポートフォリオ(作品集)作成、及び個々の創作デザインの企画構成力を目指す。	2・通年	60	2			○ ○		○		
○			グラフィックワークⅡ	グラフィックワークⅠ修了者を対象として、Photoshopでは、連続柄の作成・デザイン画の着彩ができる目標とする。Illustratorでは、ペンツールでオリジナルデザインが描けるようになる目標とする。	2・通年	60	2			○ ○		○		
○			ファッショングルマーケティング	・マーケティングの基本を学び、市場の細分化とその特徴を理解する。 ・マーケティングのプロセスにそって、市場に適合したブランド設計を行い、目的を実現させるための戦略について学ぶ。	2・通年	60	2	○			○		○	
○			西洋服装史	古代から近世18世紀までは、その時代背景を踏まえ美術史や映画によって服飾を解説していく。19世紀近代以降は、パリオートクチュール・ビジネスが確立し、ファッショングが産業化していく過程を解説する。20世紀以降、デザイナーの時代が始まり、合わせてデザイン史、音楽史、映画史などにも触れながら、多方面からファッショング史の理解を深める。	2・前期	30	1	○			○		○	
○			現代ファッショング論	各メゾンの誕生から特徴、ポリシーなど、ハイブランドを含んだファッショングブランドについての知識を深めることにより、専門科目のデザイン幅を広げ、就職後の帽子業界でその知識を活かせるようにする。	2・後期	30	1	○			○		○	
○			レザーグッズa	ファッショング小物を総合的に企画デザインするために、各種皮革素材の特性と制作技法についての知識を習得する。 また、ソフトタイプの皮革を使用した手袋やファッショング小物を各自のデザインに合わせて制作する。	2・前期	60	2			○ ○		○		
○			レザーグッズb	ファッショング小物を総合的に企画デザインするために、各種皮革素材の特性と制作技法についての知識を習得する。 また、ソフトタイプの皮革を使用した手袋やファッショング小物を各自のデザインに合わせて制作する。	2・後期	30	1			○ ○		○		

○		ニットグッズ	ニットの帽子や小物をデザインするためには必要な知識を身に付け、商品のデザイン提案がすることを目標とする。また、ハンドニット(かぎ針編みや棒針編み)の編み方の実習を通し、クリエーションの可能性を広げる。	2 ・ 前 期	30	1				○	○	○		
---	--	--------	--	------------------	----	---	--	--	--	---	---	---	--	--

授業科目等の概要

分類	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所		教員		企業等との連携	
						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	○自由選択	英会話	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標とする。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙を増すこと、ファッション関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。レベルは初級（中位）から中級まで。	2・通年	60	2	○		○		○		
○		特別講義Ⅱ	ファッション全般に渡る、トレンド情報やプロダクトデザイン。また、グッズに関わるクリエーターや企業デザイナーの仕事。特殊材料やその活用方法などの、多方面にわたる講師による講義や演習を通して、専門科目のより一層の充実を図ることを目標とする。	2・通年	30	1	○		○		○	○	
○		校外研修Ⅱ	企業訪問、工場見学、美術工芸品の見学や歴史的文化にふれることにより、感性を磨き豊かな創造性と深い知識を養う。	2・通年	30	1		○		○	○		
○	○選択・インターンシップⅡ	企業研修を通して、実践の場から業界の仕事の内容を認識するとともに、学校教育では授業できない実務を学ぶ。また、社会人としてのマナーを身につけ、就職に対する意識の向上をはかる。	2・通年	30	1			○		○	○	○	
○		卒業研究・創作	各自が研究テーマを設定し企画デザイン創作する。また、展示発表を通して企画、運営方法とチームワークの重要性を学ぶことを目標とする。	2・通年	120	4		○	○		○		
合計		19科目	1020単位時間(34単位)										
総合計		41科目	2220単位時間(74単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：最終学年の修了、卒業必須単位数の取得	1学年の学期区分	2期
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、他の方法について△を付す
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付す